

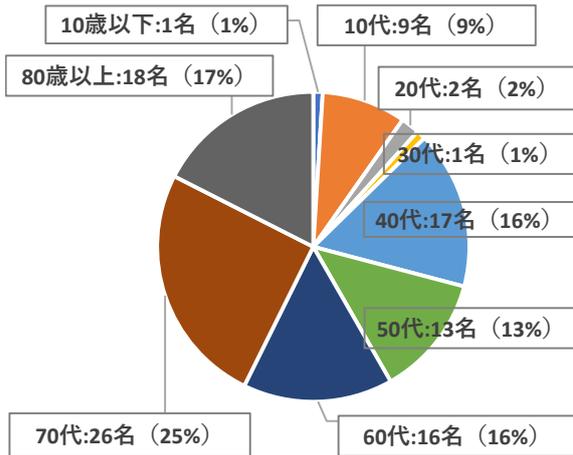
# 令和3年度 在宅医療と介護を知る宇佐市民講座 アンケート結果

令和3年12月18日開催

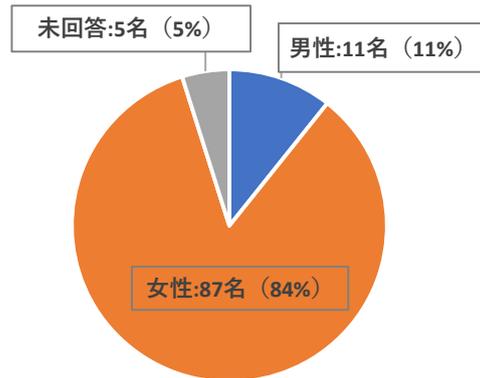
市民講座参加者 115名  
 アンケート返却者 103名  
 アンケート返却率 90%

## ■あなたについて

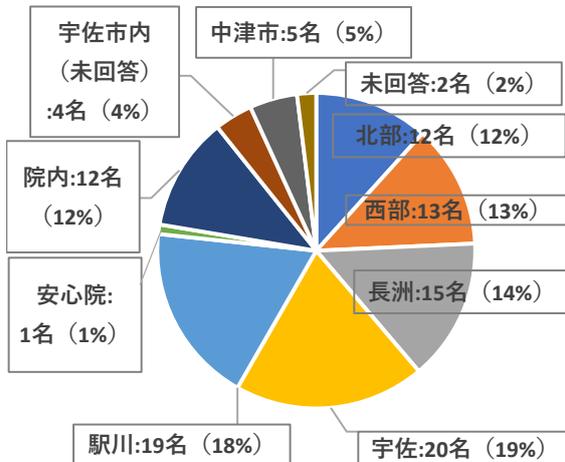
### ①年代



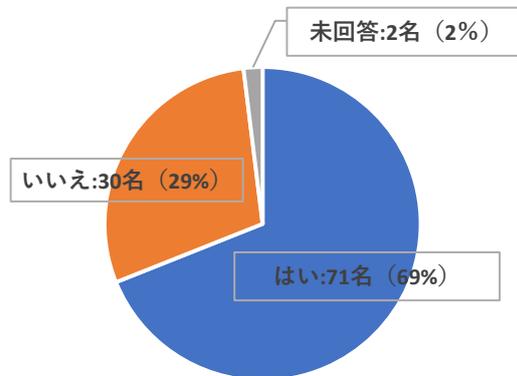
### ②性別



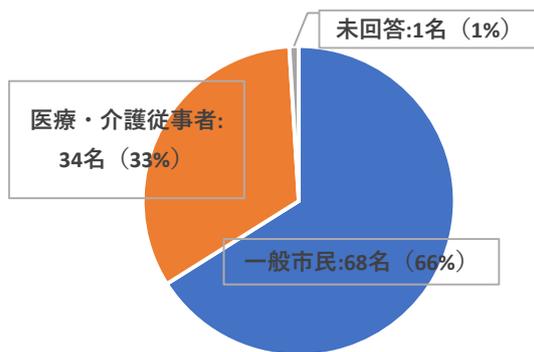
### ③お住まい



### ④かかりつけ医はいますか

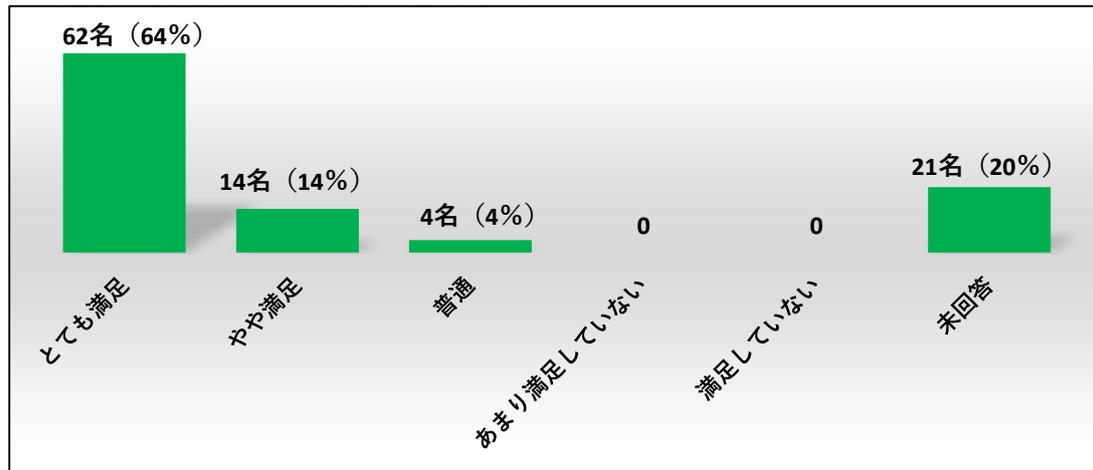


### ⑤どのような立場から参加しましたか



一般市民		68名
医療・介護従事者	薬剤師	2名
	看護師	4名
	ケアマネージャー	6名
	社会福祉士	7名
	介護職	6名
	未回答	9名
未回答		1名

## ■ 今回の映画にどのくらい満足しましたか？



## ■ 映画のご感想などがありましたら、ご自由にお書きください

### 【一般市民】

- ・ありがとうございました。
- ・いい映画です。理想と現実はまだまだ。私は1人、子供は遠くにいます。どうなることか心配です。
- ・おもしろかった。興味深くなった。
- ・この映画から在宅医療の大切さ、様々な医療機関に関わる人たちの葛藤や思いやりを知ることができました。人と人がつなぐきずなを知りました。
- ・とてもわかりやすい映画。私もあのような皆さんにしてもらいたいと思いました。ほんとうに良かったです。
- ・とても身近に感じてよかったです。涙しました。
- ・とても分かりやすくピアと言う意味が理解出来ました。よかったです。
- ・とても勉強になった。来て良かったと思った。また機会があれば来たいと思う。
- ・ピアということばの意味が分かりました。仲間と手をつなぐ大切さも大切ですね。
- ・ピアという言葉をよく理解出来ました。私は民生委員をしております。ピアという気持ちで少しでもお力になればと思っています。病気、生きる、医者さん、本人(病気)の気持ちを大事にしてくれることの喜びを多く感じました。
- ・ピアの意味が分かりました。こんな医療体制なら在宅医療を望みます。
- ・ピアの様な最期を迎えられたらどんなに幸せでしょうか。
- ・映画は大変感動しました。全市民の方に見せて上げたいです、そして医療スタッフの方にも。私も同じようなことで娘を亡くしました。他県ではありましたが、在宅医療の方がとても良くして下さいました。
- ・感激した。いろいろ勉強になった。
- ・感動しました。
- ・感動的だったが、もう少し在宅において必要な物などの描写が欲しかった。
- ・現実はいびしいのでは…!!内容は大変良かったのですが。
- ・今後の自分達の将来について。とても考えさせられた。

- ・考えさせられる事、感じる事がたくさんありこの映画を観る機会を頂いたことに感謝いたします。夫や子供たちとみれたら良かったなあと思います。  
在宅医療にかかわる専門家がこんなにもたくさんいたことを知り、それぞれの方が患者さんを支えていてとてもすばらしいなあと感じました。何か自分もできればいいなあと思います。在宅医療を受ける方、それを支える方のことにもう少し社会が目を向けると変わるなあと感じました。
- ・最後住みなれた家で過ごす為ピアの皆さんのサポートがあり亡くなっていくこと愛にあふれ幸せで最後看取る事、本人もこんなふうになることもできたら幸せだなあと思います。
- ・在宅医療が広がれば良いと思う。今日の映画を参考にします。
- ・在宅医療が充実してくれる事がありがたいです。個の働きでなく、仲間として見守ってくれる様願っています。本日は有りがとうございました。
- ・在宅医療と介護の在り方に対し理解が深まった。
- ・在宅医療について、とても良く理解出来た。
- ・在宅医療には医者だけでなくたくさんの方が関わっているのにとっても感動した。
- ・在宅医療の映画をみさせていただきたくさんの医療の人とつながっているんだなあと思いました。ありがとうございました。
- ・在宅医療の大切さ、家族とのつながりがたいへんよくわかりました。心のケアの大切さ、人間として最後まで生きぬく力をサポートする難しさを感じました。
- ・在宅医療の難しさ、困難が分かった。
- ・参加出来てとても有意義な時間でした。とても勉強になりありがとうございました。これからがんばりたいと思いました。
- ・私の母親が亡くなった時の事を思い出しました。誰かの世話になり、死を迎える大切な人間の生きざま、感動しました。
- ・私も出来るだけ在宅ケアを受けながら終わりを迎えたいと思います。
- ・自分あんなふうになるのかなと思いました。
- ・自分のためになる映画だったと思う。見て良かったと思う。
- ・実際に映画の様なケアが受けられるのでしょうか？のぞみます。
- ・人の一生というものを改めて考えさせられました。何気なく発している言動にも注意をしていきたいです。とても良かったと思います。
- ・専門職の方々の連携について知る機会となり、感謝です。一市民でも自分に出来る事が身近にあるのではと思いました。  
課題も沢山いただいた気も致します。ありがとうございました。
- ・素晴らしい映画でしたが現実にここまで出来るのでしょうか。
- ・大変参考になりました。
- ・大変良かった。
- ・地域医療について何も知らなかったが、この映画を見て色々な事が学べたのでとても良い機会だった。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。

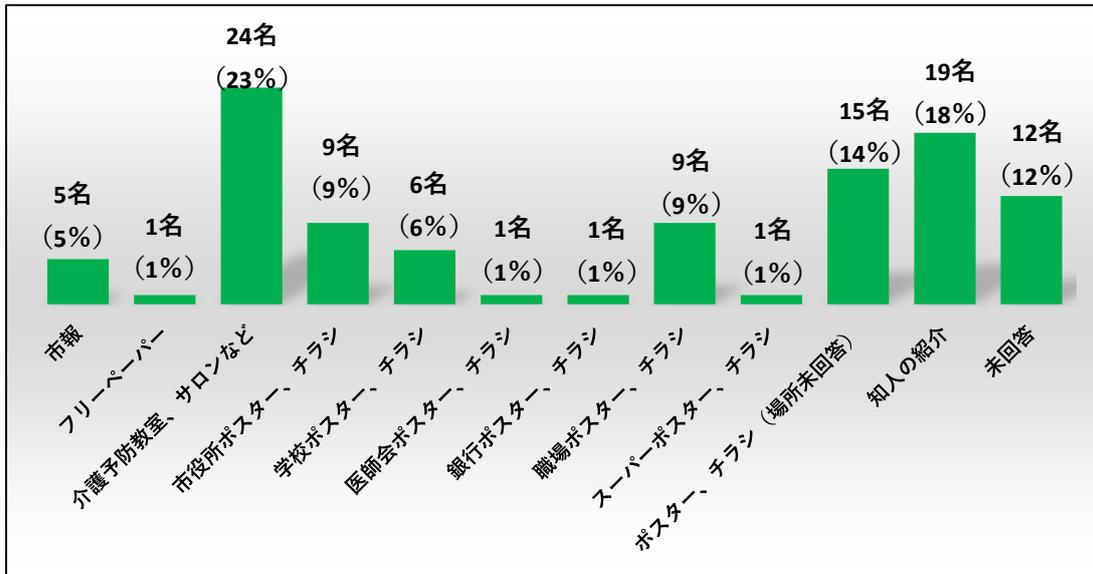
- ・日常の健康に気をつけて毎日を充実して過ごしたいです。静かな心打つ映画できた。
- ・理想的な連携の映画でした。でもあんなに強く医師に言える人がいるのでしょうか？
- ・良い勉強になりました。
- ・良かった。
- ・良かった。自分の母とだぶって思えた。思い出して涙が出た。私は今のところは良いのだけど、この後はどんな病気がまっているやら。
- ・涙がいっぱい出ました。元気ってすばらしいと思いました。ありがとうございました。
- ・70代無職です。【映画始める前の思い】この映画のお誘いがあった時、知人を誘うことをためらいました。どのように最後をむかえるかを考える映画だからと思うものの強制的に考えてしましようとは思いきいと思いました。少しの人数の間で見たり感想等意見交換するのは良いかな？と思いました。映画始める前に思ったことです。私が見て友人、知人に話の内容は伝えます。【映画後の感想】多くの方々にみていただきたい。地域毎でも。支え支えられての人生と思い一層強くなりました。上映ありがとうございました。
- ・80代の老夫婦二人、在宅となると沢山のケアが必要になり、まして交通の便が悪いので！

### 【医療・介護従事者】

- ・いろんなサービスを計画する時経済的なこと家族構成等で思い描くケアにならないこともあります。でも現在、介護保険サービスの利用で有意義な最後を過ごせる人も多くいることを感じます。
- ・ストーリーがしっかりしていた。在宅多職種連携の課題がしっかり描かれていた。
- ・すばらしい医療スタッフ、介護スタッフに私の最後も診てもらえたらとても幸せだと思った。感動ものでした。
- ・その人のやりたいことを叶えられるようにお手伝いをしたい。笑顔にしたいと思う。人に最期があることが改めてわかった。
- ・チームで支え合う在宅医療がよく伝わった。住みなれた自宅でできるだけすごしたいと感じた。
- ・とてもよかった。
- ・とても良かったです。最期をあのようむかえられて。誰もまだ生きていたいと思っても最期はくるので、どのようにむかえたいか考え残すことで叶う。こともあると思いました。
- ・ピアという言葉の通り、皆が同じ思いでその人を支えられたらいいなあと思いました。Drとの連携は難しい部分もあるので。
- ・よかった。
- ・一ケアスタッフとして日々ありふれたサービスを提供していますが、そのサービスを確かなものとしてともしていけるよう気持ちを新たにしました。

- ・よりそう、きちんと自分のしたい事を伝え、人の手をかり、助けてもらう事も大切。
- ・映画のケアマネージャーのように医師に対してははっきりものが言えるようなソーシャルワーカーになりたいです。うらやましい限りです。良い映画でした。実はやり甲斐のあるいい職業だと認識できました。患者・家族によりそえるよう現場で実践したいと思います。ありがとうございました。
- ・映画のように連携がうまく実際にはとれているのか。日常業務+の在宅で手厚い事は難しい。→やはり映画ですね。理想だ。
- ・感動しました。介護の1人として支えられるようになりたいと思いました。(皆と力を合わせて)
- ・観ることが出来てよかったです。日々の業務に追われながら利用者さん一人一人にむき合う大切さを再確認しました。
- ・最期まで本人らしく生活の大切さと本人の想いの大切さを感じました。考えさせられることが多く、自分が自宅での生活の何をできたかと考えます。
- ・在宅での支援について今後自分の業務の中でも改めて考えていきたい。
- ・在宅では家族のケアも必要だと感じました。
- ・在宅医療がとてもすてきだと思いました。それを現実にするために在宅支援体制を充実させることがとても必要だと思います。
- ・在宅医療のすばらしさを感じる事が出来ました。
- ・在宅医療やチーム医療がとてもわかりやすい映画でした。子供に在宅医療や命について一緒に教えることができました。
- ・在宅支援、生きることの大切さ、支え合う大切さを再確認する映画に出会わせて頂きました。ありがとうございます。
- ・在宅支援は専門職だけが一方的に行うものではなく本人・家族も仲間として一緒に行うことが大切だと思った。その後の家族の人生にも影響を与えるものだと感じました。
- ・支えあう言葉のむずかしさ。
- ・自分自身の事、仕事の事、色々なことを考える時間になりました。自分らしくいるために笑顔でいられるようと思いました。ありがとうございました。
- ・人1人が最後を迎えるにあたっていろいろな職種の方が携わってこそ幸せな最後を迎えられると思った。何もできないかもしれないでも人間としてあたり前の事ができたらいいと思う。自分にできる事は何かないか、考えていきたいと思った。
- ・多職種の係わりが理解できた。実際は主治医がもっとチームに参加してくれると良いケアに結びつくと思う。
- ・多職種の連携が1つのチーム・仲間になったときの力の大きさがすばらしいと感じた。もっと身近なものになったら強く願います。
- ・母は病院、父は在宅で看取りました。多くの方々に助けられたことを思い出しました。在宅のイメージをもっと変えれたらと思います。(相談できるとこ、それからお金の面などの誤解)
- ・理想！！現実では難しい。
- ・理想と現実には大きな差がある。どうすれば少しでも理想に近づけるか、みんなで考えたい。

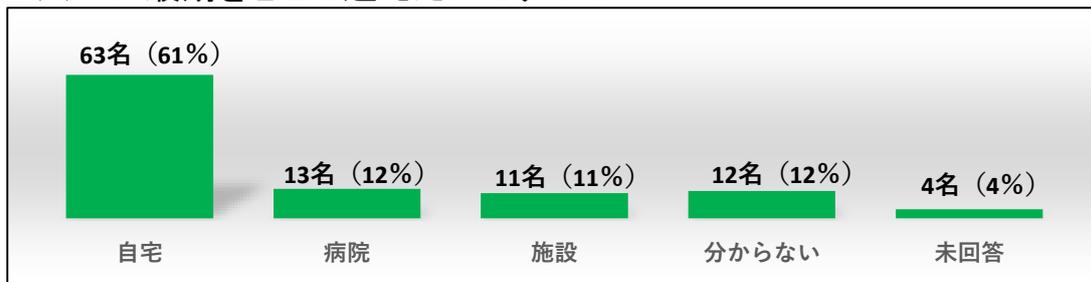
■ 市民講座は何をご覧になって参加しましたか？



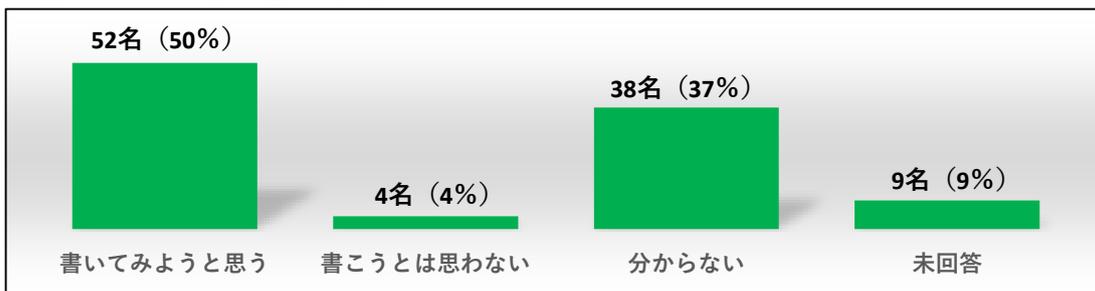
■ 現在、仕事以外で、家族や知人等の介護をされていますか？



■ 人生の最期をどこで迎えたいですか？



■ 本日本配布の「もしものときのために私の～医療と介護について～」を書いてみようと思いますか？



■今後、宇佐市民講座で取り上げてほしい内容をお書きください。

- ・宇佐市民の多くの方々に見て頂きたい映画でした。
- ・とても良い内容だったので、何度もくり返し上映してもらい、同じ職種の方にたくさん見てほしいです。
- ・ケアニン2。観ていないので。
- ・すでにエンディングノートを書いている。やはりまた介護関係をよくしりたいです。映画はとてもいい方法と思います。
- ・生死(いきたひ)長谷川ひろ子氏の映画・講演。
- ・医療・介護の仕方。自分が認知にならない予防策など。
- ・認知症についての予防法等。
- ・色々おしえてもらいたい。
- ・介護のこと！いろいろなこと？
- ・ヤングケアラーについて。高齢者だけではなく介護を必要とする方のことについて。
- ・終末医療は誰も迎えること、もっと話し合いたい。
- ・看取り(在宅)。
- ・地域における(在宅)ですごす生き方、過ごし方、楽しみ方等。
- ・病院や施設で暮らしている方が在宅に戻りたい希望があるなら応援できる講座があればいい。
- ・今後も宇佐市民の参加できる行事を続けて下さい。ありがとう。
- ・今日の様な「キカイ」とても良かったです。又、おねがいします。
- ・市民講座をしている事すら多くの方は知らない。もっと広く知らしめなければ内容についてまで語れない。
- ・医療・介護の費用(金額)。
- ・障がいを持たれた方が、在宅で暮らせるよう勉強会があればうれしい。
- ・これから寒くなります。皆様体に気をつけて下さい。
- ・相手に心やさしく思いやるのが皆で出来たらいいなあ、素直に最後まで生きよう。
- ・内容等ではありませんが、性別は男女だけではないのではないかと。性別のアンケートは必要か。
- ・臨床検査技師について。